

学校関係者評価報告書

No. 1

愛媛県立八幡浜高等学校 定時制

学校番号(34)

評価実施日	令和6年2月19日(月)		
委員	氏名	所属等	備考
	井上 靖	八幡浜市教育委員会教育長	
	大岩 育夫	本校定時制教育振興会長	
	村上 剛	八幡浜市立松柏中学校長	
	中井 貴一	株式会社中井建設(代表)、学校評議員	
	勝川 房子	学校関係者評価委員(元本校職員)	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 アンケート結果から、先生方が授業改善に努め生徒に考える時間を提供し、それをまとめたり発表したりすることを大切にされていることがうかがえる。 毎年課題となっている言語能力の育成に関する評価が向上している。他者とのコミュニケーションを図ることが難しい生徒が多い中で、着実に生徒の力が伸びていると思う。</p> <p>(2) 特別活動 学校行事や、各種大会に積極的に参加している様子が見て取れる。商業検定1級や漢字検定2級の合格者も見られることから、目標を高く掲げて様々なことに取り組んでいることが伝わってくる。今後も、生徒に目標を持たせて多くの事柄に取り組ませていくことが大切であると考えている。</p> <p>(3) 生徒指導 不登校の生徒が増加傾向にある。小学校の頃から不登校で、ネット中毒の生徒もいる。中学校では福祉的見地から関係機関の支援を受け、生徒と保護者等に寄り添うよう心掛けている。高校でも、引き続き生徒と保護者等の心に寄り添うよう心掛けていただきたい。</p> <p>(4) 進路指導 アンケートの進路に関する項目の評価が、生徒・保護者等とも向上している。丁寧な進路指導は、高校教育の重要なポイントであると考えている。</p> <p>(5) 人権・同和教育 教職員対象のアンケートで高く評価されている。先生方が意識統一を図り、チームとして課題に向き合われている表ではないかと思う。 生徒のアンケートで、「学校生活に満足している」の評価が上がっていくように、きめ細かい面談等を今後もお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後とも個々の生徒の習熟度を把握し、生徒が意欲的に活動できる学習環境を整えたい。 ・ 話すことが苦手な生徒に対する指導方法をさらに充実させたい。 ・ 集団的行事が苦手な生徒も多いが、日々の生活や人間関係の構築の中で、特別活動にも積極的に取り組む生徒が増えたと感じる。生徒会を中心に生徒が楽しいと思える行事の計画や運営を引き続き行っていきたい。 ・ 今後も学期ごとにホームルーム担任を中心とした面談を行う。また、生徒の実態把握と教員間での情報交換や保護者等との連携を教員、より深く生徒を理解することができるよう努める。 ・ ホームルーム担任、教科担任、保護者等との連携を密にし、個に応じた進路指導を実践していきたい。また、進路に関する情報提供とともに講演会等を企画し、効果的な啓発活動に努めたい。 ・ チラシの配布等を用いて、生徒が人権問題を考える機会を増やし、人権意識の高揚を図りたい。その中で、生徒が悩みを打ち明けられる雰囲気づくりを、教職員が協力して作っていきたい。また、「いじめに関するアンケート」を活用し、生徒の実態把握に努めたい。

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(6) 保健管理 昨年度に比べ、新型コロナウイルス感染症拡大の恐れは大幅に減少したが、今後も気を抜かず健康管理に努めていただきたい。</p> <p>(7) 安全管理 昨今の災害状況は生徒たちも十分理解・確認できているので、緊急時の対応について今後も防災意識を高めるために、学校でも家庭でも、日頃から対策に努めてほしい。</p> <p>(8) 特別支援教育 定時制には、他者とコミュニケーションを図るのが難しい生徒も多いが、きめ細かい指導のおかげで、着実に力が伸びていると思う。</p> <p>(9) 研修 本校のように、コミュニケーションの苦手な生徒にとって、ICT機器は有効に使えるのではないかとと思う。ICT機器に慣れることは大事だと思うが、ノートを取ることで、対面で発表し合うことなど、従来のやり方にもこだわっていただきたい。</p> <p>(10) 保護者等との連携 中学校においても不登校傾向の生徒が増加しているため、福祉的見地から関係機関の支援を受け、生徒と保護者等に寄り添うよう心掛けている。高等学校においても、普段から保護者等との連絡を密にし、学校と家庭との連携に努めることが不可欠であると考える。今後も、学校と家庭との連携強化に努めていただきたい。</p> <p>(11) 業務改善 中学校においても超過勤務時間が80時間を超えている先生が多い。年休、特休を取得しやすい環境づくりに努めているところである。引き続き、休暇を取得しやすい環境づくりに努めてほしい。</p> <p>2 重点目標について 日頃からきめ細かな指導がなされている。その一方で、生徒の学校生活への満足度がやや低いように思う。生徒にとって居心地のいい学校となるように、今後も面談等を通じて、生徒に寄り添ってもらいたい。学校行事や各種行事に積極的に参加できている。また、資格取得など、目標を高く掲げて様々なことに取り組んでいる。今後も生徒に目標を持たせて取り組ませることが大切である。</p> <p>3 説明・公表について ホームページの更新や「八定だより」の毎月の発行など、学校生活を可視化できることが、情報発信や生徒理解につながっている。2時間続きの公開授業、体育祭など、子供たちの表情や態度を見ることができた。このような場の提供を継続してもらいたい。</p> <p>4 その他（学校運営についての要望） 新型コロナウイルス感染症拡大の恐れは大幅に減少したが、今後も気を抜かず健康管理に努めてもらいたい。今後も教員が意思統一を図り、チームとして課題に向き合ってもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活、運動すること、よく眠ることが健康の源と考え、引き続き基本的な生活習慣の確立と、校内での健康観察等に気を配りたい。 ・ 日ごろから情報を提供し、緊急時には、迅速な対応ができるよう徹底していく。家庭や就業先で被災した際にも、落ち着いて行動できるよう災害に対する備えを徹底させたい。 ・ 生徒の実態把握と教職員間の情報共有に努め、個に応じた対応を今後も実践していきたい。また、保護者等や諸機関との連携を図りたい。 ・ ICT機器の使用は、目的ではなく手段であることを明確にし、生徒の学習意欲の向上を促し、生徒が学校生活に満足できるように研修を通して、教科指導力を伸ばしていきたい。 ・ 普段から保護者等との連絡を密にし、学校と家庭との連携強化に努める。また、学校行事に、より多くの保護者等に参加していただき情報交換の場にする事ができるよう、学校行事に関する連絡を可能な限り早く行い、保護者等が参加しやすい状況づくりに努める。 ・ 引き続き、休暇を取得しやすい環境づくりに努め、職員の心身のリフレッシュを図り、やりがいと生きがいを持って働ける職場としたい。 ・ 少人数の利点を生かし、個に応じた細やかな指導で、学力の定着や資格取得を支援するとともに、社会性や豊かな人間性の育成に努めたい。 ・ 更に生徒、地域、保護者等が興味や関心を抱くような情報発信に努め、本校定時制の正しい情報が伝わるようにし、地域の要望に応えられる学校を目指したい。 ・ 生徒の心身の健康が保たれるようにしていきたい。また、教員どうしのコミュニケーションをより一層図っていきたい。